

学校園教育推進サポート事業 報告書

学 番	2107	学校名	早通中学校	校長名	遠藤 禎	作成者名	松井 栄治
学校教育推進サポート担当者名	学校支援課 八木謙一指導主事			電 話	386—7333		

1 実践のテーマ

総踊りを地域の財産へ ～総踊りを通して地域と一体となった学校づくりの推進～

2 テーマ設定の理由

早通中学校では、今から10年前の創立30周年の時に校歌をアレンジした曲を作成した。

その曲に振りつけ師の方から振りつけをしていただき、世界で唯一、校歌を使った総踊り「早中総踊り」を完成させた。もともとは問題行動が多発する生徒指導困難校であり、荒んだ生徒達の心を1つにする目的で始まったが、その後、学校は少しずつ落ち着きを取り戻し、今では「総踊り」を早通地域の「財産」にしたという想いととも、明るく前向きに演舞に取り組んでいる。

しかし、「総踊り」を地域に根ざした持続可能な伝統ある活動にしていくために、地域や外部の団体と連携することに重点を置いて活動していくことが必要である。そのために、運営母体を地域へ移行することを目指し、OB・OG会の設立等も計画している。そして、教職員の働き方改革を含め、今後の「総踊り」の在り方を模索しながら、学校や地域そして生徒にとってより良い地域の財産にしていきたいと考えている。

また、「総踊り」の活動を通して、これまで生徒の自己肯定感の向上、支持的風土の醸成、いじめの減少、不登校傾向の生徒が登校を再開する等の成果も見られている。今後地域との連携を深めながらさらなる向上を目指していきたい。しかし、11月の市生活学習意識調査の結果では、「地域のことに触れたり調べることが好き」の肯定的評価58%、「地域の方から話やアドバイスを聞いて分かったり、できたりすることがある」の肯定的評価が61%であり、市平均を下回っている。「総踊り」を通して生徒の郷土に対する誇りや愛着を培ってきたい。

当校の3年間の総合的な学習の時間で実施する「早中共生学習プログラム」では「郷育」「共助」「協働」を柱とし、これからの地域を担う人材育成を目指している。特に「郷育」では、学校だけでなく、「総踊り」を中心とした早通地域の伝統を受け継いでいこうとする活動を通して、郷土愛を培いながら地域と一体となった学校づくりを推進していきたいと考えている。

3 実践内容

これまで、上級生から下級生に「総踊り」を伝承してきたが、来年度からはそれに加えてOB・OGに演舞の指導をいただいたり、衣装の準備やメイク等の支援をお願いしたいと考えている。また、学校運営協議会や早通コミュニティ協議会と連携し、地域に指導者や参加者を募り、夏休みを中心に合同練習会の開催を予定している。そして、地域のお祭りや新潟総踊り祭りに参加し、そこで地域の方と演舞することで地域の一体感を醸成させたいと考えている。

4 実践計画

実施時期	実施内容（研修会、先進校視察、授業公開 等）
4月	新入生に演舞披露、OB・OG会の実施
5月	学校運営協議会、早通コミュニティ協議会で趣旨説明
6月～7月	上級生ならびにOB・OGから下級生に踊りの伝承
8月	夏休み合同練習会（地域と合同）
8月	早通ふるさと祭での披露（地域と合同）
9月	体育祭での披露（地域と合同）
9月	にいがた総踊りまつりへの参加（地域と合同）
10月	地域貢献活動として、地域の事業所や保育園、福祉施設等で演舞披露

## 5 成果

### ◆新潟市生活学習意識調査より（生徒用）の数値から 太字がR6年度

「地域に関する項目」について

- ・早通地域に愛着をもち貢献したいと思っている（76%→**76%**）
- ・地域のことに触れたり調べることが好き（58%→**51%**）
- ・地域の大人から話やアドバイスを聞いて…（61%→**61%**）

「自己肯定感、仲間との協働に関する項目」について

- ・自分には良いところがある（70%→**71%**）
- ・学校生活で友達と力を合わせて学習したり活動している（95%→**92%**）

### （保護者・地域用）の数値から

「学校と地域協働に関する項目」について

・「早通中学生が身につけている力は何だと思いますか」の質問に対し、「地域貢献」と「郷土愛」という項目に、**79%**の方から肯定的評価をいただいた。（前年度は78%）

いずれの数値も急激な伸びはないものの、生徒は高い意識をもって活動している。また地域野方や保護者からも一定の評価をいただいている。

早通中の生徒は学校生活で、仲間と関わり力を合わせて学習や諸活動に取り組む意識が高まっている。この力は学校行事や総踊りの活動で、学年別や縦割りの活動から身につくものが多い。今年度の総踊りは、総合学習で1・2年生合同練習会・発表会、体育祭での全校練習で、上級生から1年生へ指導する時間があった。また職場体験で小学校に行った2年生が、小学生に総踊りを披露した。校内での後輩への継承、今後中学にあがる小学生からも見てもらい、地域に根ざすといった活動が行われている。

また、期間中10人程度のOB・OGからボランティアで練習のお手伝いをいただいた。20日程度来校し、踊りの全体指導や個別指導をいただいた。また祭り当日はOGの方を中心に、メイクの手伝いもしていただいた。この活動を早通に残していくために、卒業生や外部の団体との連携は欠かせない。現在の活動の主体は学校であるが、卒業生や地域との連携を密にしていく必要がある。

### ◆地域への総踊りの発信について（今年度、下記の日程で総踊りを外部の方に披露できました）

- はやどおり夏祭り【8月25日、早通駅前、総踊り隊102名】大雨により中止
- 体育祭【9月7日、早通中グラウンド、全校生徒】
- にいがた総踊りまつり【9月14日～15日、新潟駅、万代シティ周辺、総踊り隊102名】
- 総踊り地域発表【9月27日、小学校、こども園、デイサービスセンター等10カ所、3年生98名】
- 早通文化祭【11月9日、早通コミュニティセンター駐車場、1、2年生25名】



### ◆学校だより第6号・総踊り隊代表の感想より

私はこの新潟総踊りを通して、仲間の大切さを知ることができました。練習は休日を使って仲間と切磋琢磨して頑張ってきました。大変なことや辛いこともありましたが、本番自分が仲間と笑顔で踊っていることを考えて乗り越えてきました。最後、万代十字路での早中総踊りは、今までの頑張りを全て出しきれた、今までで一番良いものでした。早中総踊り隊は、仲間思いの最高のメンバーです。これからも仲間のことを思って生活したいです。